

令和3年度 国際ビジネス支援講座 カリキュラム

Ⅰ．貿易取引＜基礎＞コース	
開催日時	令和3年10月20日(水) 9:30～17:00
会 場	松山商工会議所 5階 大ホール
コースのポイント	貿易に関する基本用語から仕組み、輸出入取引の流れ、貿易に関する費用、輸送、通関、決済、金融に至るまでを分かり易く解説
受講対象者	貿易実務の初心者
講 師	(株)グローバル・ビズ・ゲート 代表取締役 池田 隆行 氏 ※池田氏はオンラインでの講演

Ⅱ．貿易取引＜輸出入実務者＞コース	
開催日時	令和3年10月28日(木) 9:30～17:00
会 場	松山商工会議所 5階 大ホール
コースのポイント	輸出・輸入に関して ・取引先開拓から成約 ・物流、通関実務 ・決済、貿易金融 を実務に即して解説
受講対象者	貿易実務担当者、管理者
講 師	各講座欄に記載

Ⅲ．貿易取引＜海外営業実践＞コース	
開催日時	令和3年11月2日(火) 9:30～16:00
会 場	松山商工会議所 5階 大ホール
コースのポイント	海外営業から見た取引先の与信と、海外営業のサンプル出荷から払込段階まで具体的な事例を通して学習。この講座では、営業を進める上での秘密保持契約・輸出契約・販売店契約の必要不可欠な文言も併せて習得。
受講対象者	貿易実務担当者、管理者、経営者
講 師	中矢一虎法務事務所(司法書士・行政書士)代表 国際法務(株) 代表取締役 中矢 一虎 氏 ※中矢氏はオンラインでの講演

Ⅳ．海外取引＜海外展開支援＞コース	
開催日時	令和3年11月9日(火) 9:30～17:00
会 場	松山商工会議所 5階 大ホール
コースのポイント	・RCEPがもたらす効果や発効により生まれる新たなビジネスチャンスのほか、近年注目が集まるSDGsと貿易取引の相乗効果などを解説 ・各種機関の海外事業支援策
受講対象者	貿易実務担当者、管理者、経営者
講 師	各講座欄に記載 ※第1講座の麻野氏はオンラインでの講演

第1講座 9:30～10:50	◆貿易取引の仕組と基礎知識 ・貿易取引の流れ ・海外取引には一定のルールがある ・取引申し込みから契約締結まで ・貿易運送の主な手段
第2講座 11:00～12:00	◆取引契約で決めること ・貨物保険による運送リスクの回避 ・価格の決め方(建値)－インコタームズ－ ・決済条件と代金回収は表裏一体
第3講座 13:00～14:50	◆貿易書類を理解する ・船積書類と通関書類 ・主な貿易書類 ◆貿易運送と通関 ・運送と通関手続きの手配 ・船積み/荷降しの流れ ・通関手続きの仕組み
第4講座 15:00～17:00	◆決済と金融 ・貿易代金決済 ・適用為替相場と為替変動リスクの回避 ◆日本の関税制度 ・関税制度の仕組み

講 師：愛媛エフ・イー・ゼット(株) アイロット事業部 国際営業課 係長 玉井 奈緒子 氏	
第1講座 9:30～10:45	◆取引先開拓と各種規制への対応 ・市場調査、取引相手の具体的発掘方法 ・相手方信用調査と選定 ・輸出入に関する規制の確認と対応 ・HSコードと輸入国の関税率調査方法
第2講座 10:45～12:00	◆取引成約に向けた取組 ・インコタームズ(費用と危険負担)留意点 ・コスト構造と取引価格の決定 ・決済方法の決定 ・取引交渉に際しての留意点
講 師：郵船ロジスティクス中国(株) 四国支店 愛媛駐在事務所 大原 幸男 氏	
第3講座 13:00～14:00	◆フォワーダーについて ・フォワーダーとは ・フォワーダーの仕事内容 ◆各輸送モード(陸・海・空)の特徴 ◆海上輸送と航空輸送 ・船と航空機の比較 ・海上輸送について ・航空輸送について
講 師：(株)伊予銀行 国際部 課長代理 野本 直 氏	
第4講座 14:10～15:30	◆輸出入決済と貿易金融 ・輸出代金回収と輸入代金支払方法 ・適用為替相場 ・貿易金融活用方法 ・為替リスクヘッジ方法
講 師：(株)愛媛銀行 国際部 主任 大西 晃生 氏	
第5講座 15:40～17:00	◆輸入信用状の開設と輸出信用状接受 ・信用状統一規則の概要と実務上の留意点 ・輸入信用状の開設と留意点 ・輸出信用状接受時の留意点 ・信用状に伴うトラブル事例

第1講座 9:30～12:30	◆海外営業部による海外取引先に対する与信と決済の知識 ・海外取引審査は国内取引審査と大きく異なる(外国のカントリーリスクと法制度の差異、海外取引先のコマーシャルリスクと審査の着眼点、輸出代金回収リスク回避方法、輸出決済(支払)方法の知識、外国為替相場変動のリスク回避方法) ◆海外営業商談の準備と開始およびサンプル出荷まで ・商談準備に必要な知識 ・輸出現積より条件の作成に関する重要テクニック5項目 ・＜事例演習＞見積もり作成 ・見本・サンプルや仕様書提示前の注意点 ・英文秘密保持契約の締結 ・＜事例演習＞サンプル送付用のインボイス作成
第2講座 13:30～16:00	◆初めての正式発注に向けた海外営業交渉と実践 ・決済(支払)条件の考え方手順 ・貿易条件・インコタームズの選択 ・輸出品に対する理不尽なクレーム要求を防ぐ方策 ・＜事例演習＞申込(offer)作成 ・外国人バイヤーの購買に対する考え方 ・＜事例演習＞英文輸出契約書作成 ・＜事例演習＞正式発注によるインボイス作成と輸出通関 ◆海外営業拡張に向けた交渉と実践 ・拡張に必要な視点とは何か ・販売店契約のポイント ◆継続的・安定的な海外拡張のための取引先与信チェック ・外国企業との取引3鉄則 ・遅延債権発生防止 ・遅延債権発生後の対策 ・法的債権回収手段の前に考えるべきこと

第1講座 9:30～12:00	講 師：(株)アールFTA研究所 代表取締役 麻野 良二 氏 RCEPで変わる貿易取引 ～“メガFTA”がもたらす輸出拡大の展望～ ◆FTAの効用とRCEP ・FTAとは：世界的広がりの理由 ・新型コロナウイルスによる貿易取引への影響とFTAの効果 ・FTAにおけるRCEPの位置づけ：日EU・FTA、TPP11との比較 ・メガFTAがもたらす新ビジネスモデル ・FTA利用の事例検証：成功の要因、失敗の原因 ◆RCEPは海外市場開拓に有効か？ ・中国、韓国との初のFTA関係の誕生 ・RCEPがもたらす新たなビジネス機会 ・RCEPの効果的活用のための条件とは？ ◆ポストコロナ時代の国際取引におけるニューノーマル ・FTA活用のための絶対条件：RCEPを中心に ・日本企業が不得意な「原産地規則」の“ツボ”を理解する ・RCEP利用における企業責任と社内体制：「自己証明」は“高嶺の花”？ ◆FTAとSDGsの相乗効果 ・SDGsの意義の再確認：企業経営への効果と影響 ・中小企業のSDGs取組み事例 ・SDGsの活用によりFTAは有効か：相乗効果を検証する ※講師の麻野氏はオンラインでの講演
第2講座 13:00～17:00	◆各種機関の海外事業支援策について 13:00～(各30分) ・ジェトロ愛媛 ・JICA四国 ・愛媛大学 ・日本政策金融公庫 休憩(10分程度) 15:20～(各30分) ・中小機構基盤整備機構 ・えひめ産業振興財団 ・INPIT愛媛県知財総合支援窓口

※上記カリキュラムの内容は状況によって一部変更の可能性がございます。予めご了承ください。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部講師はオンラインでの講演となる場合がございます。